

このようなお悩みありませんか？

- 長時間、歩いていると腰や足にシビレや痛みが出てくる
- 長時間、立っていると腰や足にシビレや痛みが出てくる
- 腰や足にシビレや痛みが出て、座ったり腰を曲げるとラクになる
- 腰、お尻、足が痺れたり痛みがある
- 腰を伸ばしているとシビレや痛みが出るので、腰を曲げて過ごしている
- 腰が曲がったままで、背筋を伸ばしづらい

足立区の「花畑名倉堂接骨院・整体院」には、脊柱管狭窄症でお悩みの患者様が多く来院されています。

脊柱管狭窄症とは

背骨の中心にある脊髄神経が通る空洞を脊柱管といい、脊柱管が狭くなって神経が圧迫されることで、腰やお尻、足などにシビレや痛みが出てしまう病気です。

原因

多くは姿勢が悪くなって背骨にズレが生じたり、腰が反った状態になることで脊柱管が狭く(狭窄)なり、神経を圧迫します。また、姿勢が悪くなることで周辺の筋肉に過度な緊張が生じて、症状を悪化させることもあります。

脊柱管狭窄症に対する施術

当院では、神経症状に対して「ハイボルト(高電圧電気刺激療法)」で神経の興奮(痛みなどの異常感覚)を抑え、超音波やマッサージ、骨盤矯正等を行います。

ハイボルトや超音波治療は、鎮痛や神経の過剰な興奮を抑えて症状を緩和させることが期待できます。さらに骨盤矯正やマッサージなどで過緊張状態の筋肉をほぐします。また、一時的に神経症状を緩和させても、良い姿勢を保持できなければ症状を繰り返してしまう危険性があるため、姿勢矯正のための骨盤矯正や姿勢を維持できる筋力を持てるように運動療法も取り入れています。

神経の痛みは一般的な打撲や捻挫と異なり、放置しても良くなるどころか悪化することが多いです。狭窄部が自然に治っていく可能性はとても低いいため、症状に対して施術を行う必要があります。ある程度の施術期間を要します。多くの方が施術により早期に症状が改善されていますが、一方で神経の圧迫や姿勢の程度によってはすぐに症状が大きく変わらないこともあります。

当院では1～2回で症状が軽減される方も多くいらっしゃる一方、3～5回目位から緩和される方もいらっしゃいますが、症状の軽減だけでなく改善に近づけるよう適切な通院頻度と期間をご案内させていただきます。

足立区やご近所で脊柱管狭窄症でお悩みの方は、「花畑名倉堂接骨院・整体院」にお気軽にご相談ください。

